

# みんなくりポジトリ

国立民族学博物館 学術情報リポジトリ National Museum of Ethnology

## 4. 国際連携と研究協力

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 国立民族学博物館, National Museum of Ethnology 公開日: 2021-03-29 キーワード: 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10502/00009675">http://hdl.handle.net/10502/00009675</a>

# 4 国際連携と研究協力

## 海外研究機関との研究協力協定

国(地域)名	ペルー
相手機関名	国立サン・マルコス大学
協定書等名	国立民族学博物館とペルー・国立サン・マルコス大学との間における考古学調査と学術交流に関する協定
締結日	2005年6月14日
協定終了予定日	2020年5月17日
目的	考古学分野における共同調査の遂行、ならびにそれに基づく学術交流の促進。
協定内容	パコパンパ考古学プログラム

国(地域)名	台湾
相手機関名	順益台湾原住民博物館
協定書等名	国立民族学博物館と順益台湾原住民博物館との学術協力協定書
締結日	2006年7月1日
協定終了予定日	2020年3月31日
目的	台湾原住民に関する学術調査、研究を推進する。
協定内容	<ul style="list-style-type: none"><li>台湾原住民族の現代的動態に関わる人類学的、言語学的、歴史学的調査</li><li>国立民族学博物館ならびに他の博物館に収蔵されている台湾原住民族関連の資料に係る調査</li><li>上記に係る報告書ならびに研究誌の発行</li></ul>

国(地域)名	韓国
相手機関名	国立民俗博物館
協定書等名	国立民族学博物館と大韓民国国立民俗博物館との文化交流協定
締結日	2007年7月11日
協定終了予定日	2022年6月14日
目的	学術、文化交流を通して友好関係を強化し、この関係を発展させる。
協定内容	<ul style="list-style-type: none"><li>国際共同展示に係る協定</li><li>教職員及び研究者の交流</li><li>共同研究及び研究集会の実施</li><li>博物館の展示及び教育活動に関する協力</li><li>学術的情報及び出版物の交換</li><li>両機関で合意されたその他の事業</li></ul>

国(地域)名	中国
相手機関名	内蒙古大学
協定書等名	国立民族学博物館と中華人民共和国内蒙古大学との学術協力の協定
締結日	2008年9月22日
協定終了予定日	2023年5月22日
目的	相互に理解を深め、両機関の学術協力を通して友好関係を強化する。
協定内容	<ul style="list-style-type: none"><li>双方の教職員・研究者の交流</li><li>研究プロジェクトの展開</li><li>博物館展示品の展覧及び教育分野における協力活動</li><li>学術研究資料、学術情報及び公開出版物についての交換と相互利用の展開</li><li>その他両機関で合意された分野における協力</li></ul>

国(地域)名	台湾
相手機関名	国立台北芸術大学
協定書等名	国立民族学博物館と台湾国立台北芸術大学との学術協力の協定
締結日	2009年5月15日

協定終了予定日	2024年5月14日
目的	相互の学術交流と両者の発展を目的とした学術協力関係を築く。
協定内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 双方の教職員・研究者の交流</li> <li>• 研究プロジェクトの展開</li> <li>• 博物館展示品及び教育分野における協力活動</li> <li>• 学術研究資料、学術情報及び公開出版物についての交換と相互利用の促進</li> <li>• その他両機関で合意された分野における協力</li> </ul>
国(地域)名	英国
相手機関名	エジンバラ大学
協定書等名	国立民族学博物館と英国・エジンバラ大学との研究交流協定
締結日	2010年5月17日
協定終了予定日	2020年5月16日
目的	相互理解と互酬性の原則に則り、両機関の学術研究交流を強化し、発展させる。
協定内容	学術研究に関し、両機関が合意する事業の交流・協力
国(地域)名	ロシア
相手機関名	ロシア民族学博物館
協定書等名	国立民族学博物館とロシア民族学博物館との間の博物館学及び文化研究の分野における学術協力に関する協定
締結日	2010年12月3日
協定終了予定日	2020年12月2日
目的	博物館学、調査研究、文化財保護の各分野における協力・相互支援関係を樹立する。
協定内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 両博物館が保有する歴史的、文化的財産の保存状態改善を目的としたプロジェクトの支援</li> <li>• 両博物館の研究者交流</li> <li>• ロシア民族学博物館が実施するシベリア、中央アジア、極東、北コーカサスでの民族学的フィールドワークへの民博の研究者の参加</li> <li>• 両博物館が指名する経理、データベース構築、収集品の考証、資料の分類、保存科学などの諸分野の専門家の交流</li> </ul>
国(地域)名	ロシア
相手機関名	ロシア科学アカデミー・ピョートル大帝記念人類学民族学博物館（クンストカメラ）
協定書等名	国立民族学博物館とロシア科学アカデミー・ピョートル大帝記念人類学民族学博物館（クンストカメラ）との間の協力および文化交流に関する協定
締結日	2011年10月21日
協定終了予定日	2021年10月20日
目的	学術、文化の両分野において相互交流および協力関係を発展させる。
協定内容	<p>野外調査および学術・理論的研究、博物館関連活動の分野における交流を以下の項目について実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 教職員の交流</li> <li>• 野外調査、学術・理論的研究、学術集会の共同実施</li> <li>• 展示および教育プロジェクトの共同実施</li> <li>• 学術情報および刊行物の交換</li> <li>• 両博物館の合意による、その他のあらゆる学術分野の活動</li> </ul>
国(地域)名	ベトナム
相手機関名	生態学生物資源研究所
協定書等名	国立民族学博物館とベトナム生態学生物資源研究所の学術協力に関する協定
締結日	2012年3月22日
協定終了予定日	2021年6月6日

目的 相互の理解、利益および協力の原則に基づいて学術研究および交流の強化、発展のために本契約を締結する。

協定内容 共同研究、研修、出版、展示等に関するプロジェクトにおける学術的な研究および交流の促進

国(地域)名 米国

相手機関名 アシウィ・アワン博物館・遺産センター

協定書等名 国立民族学博物館とアシウィ・アワン博物館・遺産センターの学術協力に関する協定

締結日 2012年6月3日

協定終了予定日 2022年6月2日

目的 相互に理解を深め、両機関の学術協力を通して友好関係を強化する。

協定内容

- 双方の教職員・研究者の交流
- 共同研究プロジェクトの展開
- 博物館資料の展覧および教育分野における協力活動
- 学術研究資料、学術情報および公開出版物についての交換と相互利用の展開
- その他両機関で合意された分野における協力

国(地域)名 フィリピン

相手機関名 フィリピン国立博物館

協定書等名 国立民族学博物館とフィリピン国立博物館の学術協力に関する協定

締結日 2012年7月18日

協定終了予定日 2023年1月16日

目的 相互の理解、利益および協力の原則に基づいて学術研究および交流の強化、発展のために本契約を締結する。

協定内容 共同研究、研修、出版、展示等に関するプロジェクトにおける学術的な研究および交流の促進

国(地域)名 中国

相手機関名 中国社会科学院民族学・人類学研究所

協定書等名 国立民族学博物館と中国社会科学院民族学・人類学研究所との学術交流協定

締結日 2012年8月28日

協定終了予定日 2021年8月27日

目的 両機関の学術交流を通して国際的な連携を進めるため、平等互惠と相互尊重の理念のもとに、この協定を締結する。

協定内容

- 研究プロジェクトの展開
- 双方の教員・研究者交流
- 研究資料、学術情報及び公開出版物についての交換と相互利用の展開
- その他両機関で合意された分野における協力

国(地域)名 米国

相手機関名 北アリゾナ博物館

協定書等名 国立民族学博物館（日本国 大阪）および北アリゾナ博物館（米国 アリゾナ州 フラッグスタッフ）との学術協力・協働協定書

締結日 2014年7月4日

協定終了予定日 2024年7月3日

目的 学術交流・研究を強化・発展させる。

協定内容 より一層の交流、情報共有、協力関係、良質な民族誌的記録向上を目的として、博物館やソースコミュニティと共に諸活動を研究・促進するプロジェクトの発展のために協働する。

国(地域)名 台湾

相手機関名 国立台湾歴史博物館

協定書等名 国立民族学博物館と国立台湾歴史博物館との間の学術研究交流に関する協定書

締結日	2015年10月16日
協定終了予定日	2021年10月15日
目的	相互に理解と友好を深め、両機関における学術研究交流を促進する。
協定内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 研究者の交流</li> <li>• 共同研究及び研究集会の実施</li> <li>• 博物館の展示や教育活動に関する協力</li> <li>• 学術情報及び出版物の交換</li> <li>• その他両機関が合意した事項</li> </ul>
国(地域)名	米国
相手機関名	ヴァンダービルト大学
協定書等名	国立民族学博物館（日本国）とヴァンダービルト大学（アメリカ合衆国）との協定合意書
締結日	2016年1月15日
協定終了予定日	2021年1月14日
目的	両機関が友好と相互平等と利益互恵の原則に基づいて学術的に協力・協同する。
協定内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 講演会やシンポジウム、研究会における協力</li> <li>• 共同研究</li> <li>• 文化交流</li> </ul>
国(地域)名	中国
相手機関名	浙江大学人類学研究所・図書館
協定書等名	日本国国立民族学博物館と中華人民共和国浙江大学人類学研究所・図書館との学術交流に関する協定書
締結日	2016年4月19日
協定終了予定日	2021年4月18日
目的	両機関の刊行物をお互いに寄贈することにより、民博側は浙江大学に創設された「民博文庫」の充実に努め、浙江大学側は民博図書館における中国（語）関係資料の充実に努める。
協定内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 研究者などの人材交流</li> <li>• 人類学及び人類学資料事業に関する研究</li> <li>• 学術出版物の寄贈</li> <li>• その他協定の目的のために両機関が必要と認める活動に関すること</li> </ul>
国(地域)名	カナダ
相手機関名	ブリティッシュコロンビア大学人類学博物館（UBC）
協定書等名	日本・国立民族学博物館とブリティッシュコロンビア大学人類学博物館の学術協力に関する協定書
締結日	2017年3月9日
協定終了予定日	2022年3月8日
目的	研究交流や人材交流を行い、両博物館における研究活動や博物館活動を促進・活性化させる。
協定内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 研究者などの人材交流</li> <li>• 人類学及び人類学資料事業に関する研究</li> <li>• 学術出版物の寄贈</li> </ul>
国(地域)名	イラン
相手機関名	イラン国立博物館
協定書等名	イラン・イスラム共和国・イラン国立博物館および日本・国立民族学博物館の博物館協力に関する覚書
締結日	2017年11月8日
協定終了予定日	2022年11月7日
目的	両博物館の文化・研究分野の協力強化。
協力分野	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 共同研究プロジェクトに関すること</li> </ul>

- 刊行物の交換に関すること
- 共同で行う展示に関すること
- 学術調査、博物館学（技術者研修）、標本資料の保存・修復分野における専門研究者の交流に関すること
- 博物館学、保存、修復分野に関する共同ワークショップ、会議、セミナー、シンポジウム開催に関すること
- 実験研究分野での連携協力に関すること
- インターネット、デジタル資源の共同作業と共有に関すること

国(地域)名 台湾  
 相手機関名 客家文化発展センターおよび交通大学客家文化学院  
 協定書等名 国立民族学博物館と客家委員会客家文化発展センター、交通大学客家文化学院との間の三者学術研究交流に関する協定  
 締結日 2017年12月16日  
 協定終了予定日 2023年12月15日  
 目的 三者間の学術研究交流の推進。  
 協定内容

- 研究者、教職員、職員の交流
- 共同研究及び研究集会の実施
- 博物館展示や教育活動に関する交流と協力
- 学術情報及び出版物の交換と使用
- その他三機関が合意した事項

国(地域)名 ザンビア  
 相手機関名 国立博物館機構  
 協定書等名 国立民族学博物館と国立博物館機構との間の学術協力に関する協定  
 締結日 2018年8月12日  
 協定終了予定日 2023年8月11日  
 目的 相互に理解を深め、両機関の学術協力を通して友好関係を強化する。  
 協定内容

- 研究者・学芸員、その他の研究職員の交流
- 共同研究及び研究集会の実施
- 博物館の展示や教育活動、研修事業に関する協力
- 関連分野に関する学術情報及び出版物の交換
- 学術専門集会、フォーラムおよび協議会への相互の招待

国(地域)名 インドネシア  
 相手機関名 国立考古学研究センター  
 協定書等名 インドネシア・国立考古学研究センターおよび日本・国立民族学博物館との共同調査研究に関する覚書  
 締結日 2019年6月10日  
 協定終了予定日 2021年6月9日  
 目的 インドネシア国内での国際共同調査の実施、および研究成果の共有。  
 協定内容

- インドネシア国内における共同研究の推進
- 学術情報及び出版物の交換と使用
- 博物館展示に関する交流と協力
- その他、両機関が必要と認める研究活動の実施

国(地域)名 ウズベキスタン  
 相手機関名 ウズベキスタン共和国科学アカデミー ヤフヨ・グロモフ考古学研究所  
 協定書等名 ウズベキスタン・ウズベキスタン共和国科学アカデミー  
 ヤフヨ・グロモフ考古学研究所および日本・国立民族学博物館との学術協力に関する協定書

締結日	2019年9月19日
協定終了予定日	2024年9月18日
目的	国際共同発掘調査・研究、研究者交流、考古学に関する資料や情報の交換等・研究者・学芸員などの人材交流。
協定内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 考古学、人類学、地理学、保存科学、その他関連分野に関する共同研究の推進</li> <li>• カフィル・カラ遺跡とその周辺遺跡の発掘調査、ならびにザラフシャン川中流域の遺跡踏査および測量調査</li> <li>• 博物館展示や教育活動、研修事業に関する交流と協力</li> <li>• その他、両機関が必要と認める研究活動の実施</li> </ul>
国(地域)名	バングラデシュ
相手機関名	バングラデシュ農業大学
協定書等名	バングラデシュ農業大学および日本・国立民族学博物館との学術研究交流に関する協定書
締結日	2019年11月3日
協定終了予定日	2023年11月2日
目的	相互理解、相互利益及び協力関係の原則に基づいた学術研究及び学術交流の強化・促進。
協定内容	学術研究と共同研究、研修、出版、展示プロジェクトにおける学術研究及び研究交流の推進
国(地域)名	ケニア
相手機関名	ケニア国立博物館群
協定書等名	ケニア国立博物館群および日本国立民族学博物館による学術・文化・教育面での交流促進に関する覚書
締結日	2019年11月7日
協定終了予定日	2022年11月6日
目的	平等で互利的な関係のもとに、文化と博物館に関する研究と教育の分野での協働にむけて合同して活動する。
協定内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 共同調査プロジェクトの実施</li> <li>• 講演会、シンポジウム、共同展示の実施</li> <li>• 調査に関わる情報と資料の交換</li> <li>• 文化ならびに博物館学に関する交流プログラムの振興</li> <li>• 研究スタッフの交流に関する協力</li> </ul>
国(地域)名	タイ
相手機関名	カセサート大学林学部
協定書等名	タイ・カセサート大学林学部および日本・国立民族学博物館との学術研究交流に関する協定書
締結日	2019年11月22日
協定終了予定日	2023年11月21日
目的	相互理解、相互利益及び協力関係の原則に基づいた学術研究及び学術交流の強化・促進。
協定内容	共同研究、研修、出版、展示に関わるプロジェクトにおいて、学術研究および交流を推進する

## MINPAKU Anthropology Newsletter

Newsletter 48 (June 2019)

Special Theme: Education at the Museum

Doctoral Studies at Minpaku	_____	Taeko Udagawa
Annual Junior Researcher's Seminar	_____	Hironao Kawai
MMP: Official Volunteers for Minpaku	_____	Masayuki Deguchi
Minpaku Sama-Sama School: for People with Intellectual Disabilities	_____	Toshihiro Nobuta

Special Theme: Special Research Project

- Performing Arts and Conviviality ————— Yoshitaka Terada  
 Musical Conviviality in the otto & orabu Ensemble ————— Mia Nakamura  
 Musicking for Conviviality, Solidarity and Peacebuilding ————— Olivier Urbain  
 Intention, Connection, and Convivência ————— Deborah Wong

**みんぱくフェローズ**

客員研究員等で国立民族学博物館に在籍した研究者で、帰国後も継続的な関係を維持するためにMINPAKU Anthropology Newsletterを送付している研究者、および国立民族学博物館と関連の深い国内外の研究機関で、MINPAKU Anthropology Newsletterを送付している機関。

アジア・中東・オセアニア		ヨーロッパ		北米・中南米		アフリカ	
アラブ首長国連邦	2	アイスランド	2	アルゼンチン	1	エジプト	15
アルメニア	7	イタリア	2	米国	154	エチオピア	6
イスラエル	11	英国	45	エクアドル	3	ガーナ	3
イラン	1	オーストリア	3	カナダ	18	カメルーン	1
インド	13	オランダ	9	ガイアナ	2	ケニア	3
インドネシア	17	キプロス	1	コロンビア	2	コートジボワール	1
オーストラリア	23	ギリシャ	1	ジャマイカ	4	ザンビア	13
韓国	31	スイス	4	チリ	1	スーダン	2
サウジアラビア	3	スウェーデン	9	パラグアイ	1	エスワティニ	2
サモア	4	スペイン	2	ブラジル	5	セーシェル	2
シンガポール	5	スロベニア	1	ペルー	13	タンザニア	2
スリランカ	3	セルビア	1	ボリビア	3	ナイジェリア	3
ソロモン諸島	3	チェコ	3	ホンジュラス	1	ナミビア	1
タイ	27	デンマーク	3	メキシコ	4	ボツワナ	2
台湾	30	ドイツ	27			マダガスカル	2
中国	189	ノルウェー	3			マリ	1
トルコ	5	フィンランド	1			南アフリカ	5
ニュージーランド	3	フランス	18			モーリタニア	1
日本	201	ブルガリア	3				
ネパール	6	ベルギー	3				
パキスタン	1	ポーランド	5				
バヌアツ	1	ポルトガル	3				
パプアニューギニア	3	マケドニア	1				
パレスチナ	7	ルーマニア	2				
フィジー	9	ロシア	14				
フィリピン	7						
ブータン	3						
ブルネイ	1						
ベトナム	7						
香港	3						
マレーシア	10						
ミャンマー	11						
モンゴル	8						
ヨルダン	8						
ラオス	4						
小 計	667	小 計	166	小 計	212	小 計	65
総 計							1110

## 「博物館とコミュニティ開発」コース

国際協力事業団（JICA）が主宰し、本館が中心となって1994年から10年間実施してきた「博物館技術（収集、保存、展示）コース」は、開発途上国における諸博物館の技術向上と、博物館間の国際的ネットワーク構築に大いに貢献してきた。また、その過程を通じて、本館はじめわが国の博物館関係者も、研修参加者から多くのことを学ぶことができた。

研修コースの設置から10年の節目を迎えた2003年、国際協力事業団は独立行政法人国際協力機構に衣替えし、本館もまた、2004年4月より法人化し、大学共同利用機関法人・人間文化研究機構の1機関となった。この機に当たり、改めて過去10年の成果を点検し、いくつかの点でコースの改変を行い、2004年度からは「博物館学集中コース」として再出発した。

この新たな「博物館学集中コース」は、本館がJICAから全面的な事業委託を受け、滋賀県立琵琶湖博物館と協同で運営することとなった。もとより、研修の実施に際しては、国内の多くの博物館・美術館とその関係者から協力をあおぐことはいうまでもない。本館のもつ国際的ネットワークは、対象国の博物館事情を踏まえた研修実施に不可欠な要因であり、またその先進的な情報・資料管理や博物館運営は、研修に大きな効果をあげている。その一方で、研修員の多くにとって切実な問題である、自らの属するコミュニティの資料を収集・整理し、展示するという課題については、主として海外資料の収集・展示に関わる人文社会系の博物館である本館での研修に限界があることも事実である。そこで、2004年度からの新しいコースでは、自然科学系の博物館としてこの分野の活動で先進的な業績をあげている、琵琶湖博物館と密接に連携することで、より充実した研修を進めている。また、研修プログラムの設定にあたっては、各講義を講師による一方向の教育ではなく、講師と研修員とが自らの経験や知識を共有する議論の場として位置付け、相互に学び合うコースとなるように留意している。

その後、2009年度からは、JICA 集団研修全体の枠組みが大きく変更され、3年間を一区切りとして、その間は研修員受入れ割り当て国を変更しない、という基本原則が定められた。日本の国際協力事業全体を見直す動きの中で、同一国に継続的な協力を行ってその結果が現地に確実に還元される仕組みを作り、それを3年ごとに確認して当該コースを継続すべきかを外部評価の判断にゆだねる、というJICAの方針から、このような枠組みの変更が行われたものである。しかし、本館としては、この枠組みの変更に際し、博物館関係者を3年間にわたり継続して派遣することが困難な国も多いことを勘案して、「大きな需要を持ちながらも博物館人材の少ない国を切り捨てる結果に陥らないこと」を要望してきた。その結果、2012年度以降は、JICAが各国に向けて要望調査を行う際の、割り当て国の固定をやめ、全世界に要望調査を行うことになった。2015年度においては、「博物館学集中コース」を博物館が地域社会に果たす役割により重点を置いたコースへと改組し、合わせて「博物館とコミュニティ開発」コースへと名称変更を行った。さらに、2018年度より琵琶湖博物館が展示刷新のため本コースの運営を辞退し、本館単独での運営となった。

2019年度は、アルメニア、インドネシア、エジプト、ザンビア、スーダン、パレスチナ、フィジー、ブータンの8か国・地域から10名の研修員を受け入れ、8月30日から11月22日まで研修を行った。本館における講義・実習等の実施だけでなく、9月1日から7日に開催された第25回ICOM（国際博物館会議）京都大会2019に参加し、9月3日には過去の研修員とともにセッションを実施したほか、新潟県中越地震の被災地や中越メモリアル回廊、東京国立博物館や国立科学博物館、横浜美術館、三重県総合博物館、広島平和記念資料館などへの研修旅行も行った。

また研修員全員が、自国の博物館の活動や課題を報告し、検討する「公開フォーラム世界の博物館2019」を2019年10月26日に国立民族学博物館で開催した。67名の参加者があり、報告者と活発な意見交換を展開した。また、全期間にわたって日本のさまざまな博物館関係者と直接ふれあい、その一部の現場を訪ねることで、研修員が日本側の経験に学ぶと同時に、日本側も研修員の目を通して、日本の博物館の持っている可能性と課題に気づかされるなど、たがいに経験と知見を分かちあうことができたと考えられる。

### ● 「博物館とコミュニティ開発」コース研修員

KARAPETYAN Julietta (カラペティアン ジュリエッタ) アルメニア

————— アルメニア歴史博物館 考古部 主任研究員

TASHI Sangay (タシ サンゲイ) ブータン

————— ザ・ロイヤル・ヘリテイジ・ミュージアム 文化部 シニア・キュレーター

MOHAMED Alzahraa Saifeldien Selim (モハメッド アルザハラ セイフディン サリン) エジプト  
————— エジプト考古学博物館 第4課-新王国・ユーヤ・トーヤコレクション キュレーター/管理官

VAVALOA William Southwick (ババロア ウィリアム サウスウィック) フィジー  
————— フィジー博物館 展示課 展示助手

MAISARAH Sarona (マイサラ サロナ) インドネシア  
————— アチェ津波博物館 博物館マーケティング マーケティング製品専門職員

GHAZAL Walaa A A (ガザル ワラ) パレスチナ  
————— 観光・遺跡庁 博物館・遺跡局 キュレーター

Elnzeer Tirab Abaker Haroun (アルナジール ティラブ アバカール ハロン) スーダン  
————— スーダン国立博物館 シニア・キュレーター

ZULU Betty (ズル ベティ) ザンビア  
————— チョマ博物館・工芸センター 歴史課 管理助手

HAKOOLA Alfred (ハコラ アルフレッド) ザンビア  
————— ルサカ国立博物館 図書館 司書

MWIINDE Shamu Ephason (ムインデ シャム エファソン) ザンビア  
————— リビングストーン博物館 保存課 保存助手

## 国内研究機関等との研究連携、協力の推進

相手機関名	日本文化人類学会
協定名	人間文化研究機構国立民族学博物館と日本文化人類学会との連携に関する協定
締結日	2008年2月27日
概要	研究連携、研究交流、相互の研究成果の活用を促進し、もって人類社会における学術の発展と普及に寄与する。
終了予定日	なし
相手機関名	金沢大学
協定名	大学共同利用機関法人間文化研究機構国立民族学博物館と国立大学法人金沢大学との連携・協力に関する協定
締結日	2014年3月23日
概要	金沢大学と民族学博物館とのこれまで長年にわたり培ってきた信頼関係と連携・協力の実績を基盤に、より緊密かつ組織的に行う体制強化を図る。
終了予定日	2020年3月31日
相手機関名	立命館大学
協定名	国立民族学博物館と立命館大学との学術交流に関する協定書
締結日	2014年4月10日
概要	食に関する学術研究、その他の諸活動の発展に向けた連携協力をを行う。
終了予定日	2024年4月9日
相手機関名	大阪工業大学
協定名	国立民族学博物館と大阪工業大学との学術交流に関する協定書
締結日	2015年3月23日

概要	情報メディア・デジタルコンテンツに関する学術研究、その他の諸活動の発展に向けた連携協力を行う。
終了予定日	2025年3月22日
相手機関名	株式会社海遊館
協定名	大学共同利用機関法人人間文化研究機構国立民族学博物館と株式会社海遊館との連携・協力に関する協定
締結日	2015年11月19日
概要	産学連携の推進、学術研究の振興、研究成果による社会貢献、その他の諸活動の発展に向けた連携協力を行う。
終了予定日	2020年3月31日
相手機関名	東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所
協定名	大学共同利用機関法人人間文化研究機構国立民族学博物館と国立大学法人東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所との連携・協力に関する協定
締結日	2015年11月25日
概要	世界諸地域の言語と文化に関する学術研究、その他の諸活動の発展に向けた連携協力を行う。
終了予定日	2022年3月31日
相手機関名	神戸大学大学院人文学研究科
協定名	大学共同利用機関法人人間文化研究機構国立民族学博物館と国立大学法人神戸大学大学院人文学研究科との学術交流に関する協定
締結日	2016年7月15日
概要	研究教育のための学術交流を推進する。
終了予定日	2022年3月31日
相手機関名	大妻女子大学
協定名	大学共同利用機関法人人間文化研究機構国立民族学博物館と大妻女子大学との学術交流・協力に関する基本協定書
締結日	2017年6月20日
概要	研究・教育活動全般における学術交流を推進し、相互の研究・教育の一層の進展と地域社会及び国内外の発展に資する。
終了予定日	2020年6月19日
相手機関名	山形大学
協定名	大学共同利用機関法人人間文化研究機構国立民族学博物館と国立大学法人山形大学との学術交流・協力に関する基本協定書
締結日	2018年2月16日
概要	研究・教育活動全般における学術交流・協力を推進し、相互の研究・教育の一層の進展と地域社会及び国内外の発展に資する。
終了予定日	2021年2月15日
相手機関名	大阪大学
協定名	国立民族学博物館と大阪大学との学術交流に関する協定書
締結日	2018年3月17日
概要	学術研究、教育、社会貢献及びその他諸活動の発展に資する。
終了予定日	2022年3月16日
相手機関名	京都造形芸術大学
協定名	人間文化研究機構国立民族学博物館と京都造形芸術大学との学術交流・協力に関する基本協定書

締結日	2018年3月19日
概要	研究・教育活動全般における学術交流・協力を推進し、相互の研究・教育の一層の進展と地域社会及び国内外の発展に資する。
終了予定日	2021年3月18日
相手機関名	一般社団法人文化財保存修復学会
協定名	人間文化研究機構国立民族学博物館と一般社団法人文化財保存修復学会との学術交流・協力に関する基本協定
締結日	2018年11月19日
概要	文化財保存のための基礎研究を行う研究者、実際に文化財の修復を行う修復家、美術館・博物館の学芸員、将来の専門家を育成する教育機関の関係者、専門家を志す学生などさまざまな立場の会員が集まり、文化財の保存に関わる科学・技術の発展と普及を図る。
終了予定日	2021年11月18日
相手機関名	日本展示学会
協定名	人間文化研究機構国立民族学博物館と日本展示学会との学術交流・協力に関する基本協定
締結日	2018年11月26日
概要	両機関が行う研究・教育活動全般における学術交流・協力を推進し、相互の研究・教育の一層の進展と地域社会及び国内外の発展に資する。
終了予定日	2021年11月25日
相手機関名	大阪府
協定名	大阪府と国立民族学博物館との手話言語に係る連携協力に関する協定書
締結日	2019年8月28日
概要	手話言語学の分野において、相互に連携の強化を図り、双方の発展と充実に寄与する。
終了予定日	2020年8月27日
相手機関名	一般社団法人東洋音楽学会
協定名	一般社団法人東洋音楽学会と人間文化研究機構国立民族学博物館との連携に関する協定
締結日	2019年11月3日
概要	研究連携、研究交流、相互の研究成果の活用を促進し、もって音楽文化の持続可能な発展と、音楽文化研究の深化に寄与する。
終了予定日	2022年11月2日
相手機関名	神奈川大学日本常民文化研究所
協定名	神奈川大学日本常民文化研究所と国立民族学博物館との学術交流に関する協定
締結日	2020年3月26日
概要	両機関が行う研究活動全般における学術交流・協力を推進し、相互の研究の一層の進展と日本の文化人類学・民俗学等の発展に資する。
終了予定日	2025年3月25日